

受付番号

2025-65

許可番号

大歯医倫 第 111445 号

研究課題名

顎関節症の病態診断および症状や兆候を臨床現場でフォローアップするための新規診察票、質問票と診断基準のブラッシュアップ 第二報

研究責任者

前川 賢治

申請者

前川 賢治

研究終了日

2027 年 3 月 31 日

所属

欠損歯列補綴咬合学講座

所属

欠損歯列補綴咬合学講座

職名

主任教授

職名

主任教授

申請の概要

現在の顎関節症の臨床診査票、質問票の中で信頼性、妥当性が担保された診査方法、診断基準として、DC/TMD が広く知られている。しかしながら DC/TMD はその運用方法が煩雑であることから、広く臨床使用されるには至らず、より簡便かつ妥当性が担保された新たな診察票、質問票の出現が待ち望まれていた。そのような中、日本顎関節学会 学術委員会ならびに病態分類委員会が協働して、新たな診察票、質問票およびそれらによる診断基準の原案が完成した。

そこで本研究では、共同研究機関に顎関節症状を主訴に来院した患者を対象として、本診察・診断システムを試用することで、本診察票、質問票、診断システムの妥当性、信頼性の検証を行う。具体的には、1) 本診察票、質問票により得た診断結果と、核磁気共鳴画像 (MRI) 診査結果を統合して得られた診断結果を比較して、本診察票、質問票により得た診断結果の妥当性を確認する、2) 本診察票、質問票により得た診断結果と、核磁気共鳴画像 (MRI) 診査結果を統合して得られた診断結果の評価者間一致度を算出し、診察・診断システムの信頼性を検証することを目的としている。対象は、共同研究機関に顎関節症状を主訴に来院した患者とし、本診察票、質問票による臨床診査を実施する。